

製造業

～売上DI・収益DIともに悪化～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
製造業全体	± 0.0	△26.3	△31.5	± 0.0	△36.9	△26.3

業種別

水産加工	+12.5	+12.5	± 0.0	△12.5	△12.5	± 0.0
木材・食品一般加工 (農畜産加工含む)	+20.0	△50.0	△66.7	+60.0	△33.3	△50.0
印刷	△25.0	△75.0	△50.0	△25.0	△75.0	△50.0
生コン・セメント 造船・漁網・土石	△100.0	± 0.0	± 0.0	△100.0	△100.0	± 0.0

地区別

根室市	+14.2	△42.8	△57.1	+42.8	△42.8	△42.9
管内4町	△ 9.1	△16.6	△16.7	△27.2	△33.4	△16.7

実績TOPICS

- 製造業全体では売上DIは26.3ポイント、収益DIは36.9ポイント前期比後退
- 水産加工は前期同様、売上DIはプラスを維持するも収益DIはマイナス
- 地区別では根室市、管内ともに売上・収益DI悪化

見通しTOPICS

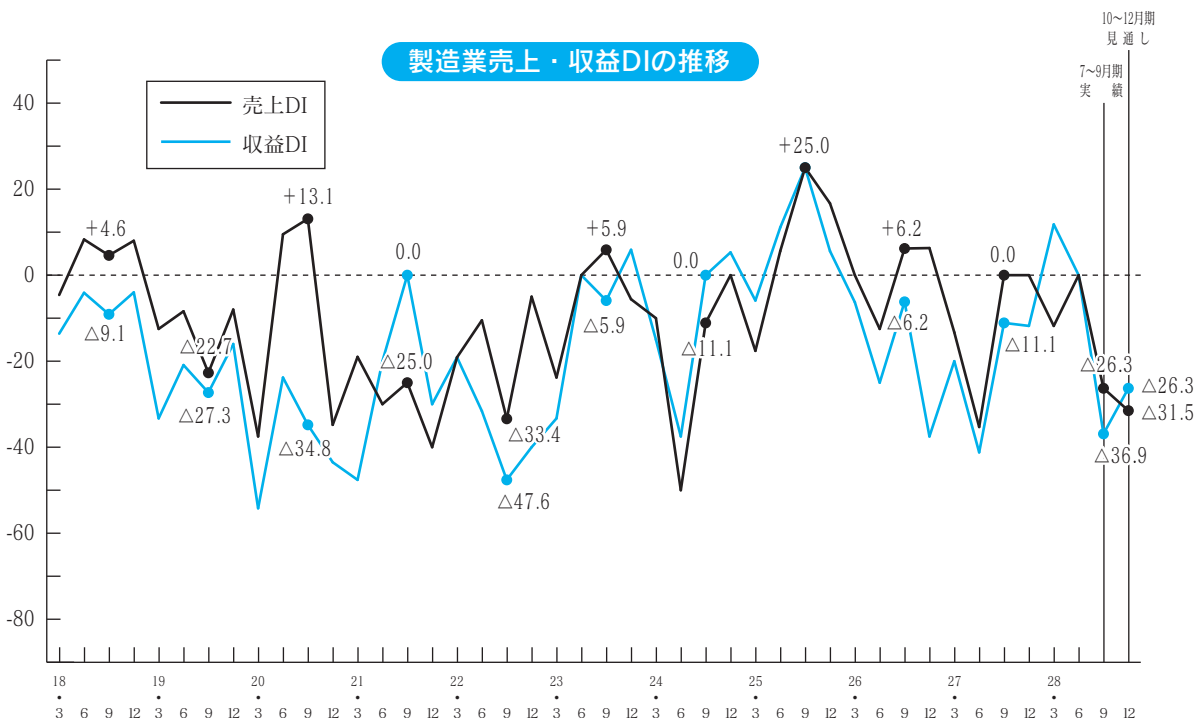
- 木材・食品一般加工は売上・収益DIともに今期比悪化の見通し
- 管内4町の収益DIが改善する見通しにあるが、地区別は依然低調

7～9月製造業特徴

水産加工業は、サンマや秋サケ漁の始まりにともない繁忙期となっていますが、海水温の上昇や台風の影響を受けて、水揚量が減少。取扱数量が減少し、仕入値が上昇したことから収益が圧迫され景況感は低調となっています。

印刷業はインターネットの普及や電子化による需要の低迷が続き、景況感は依然として低調となっています。

食品加工業は、台風の影響により原材料価格が上昇し、収益を圧迫していることから景況感は悪化しています。



卸売業

卸売業

～売上・収益DIともに後退～

実績TOPICS

- 卸売業全体は、売上DI6.3ポイント、収益DI6.3ポイント前期比後退
- 水産物卸は売上・収益DIともにマイナスとなり低調。
- 根室市収益DIがプラスへ転じるも、管内4町の収益DIはマイナス。

見通しTOPICS

- 水産物卸は売上・収益DIともに改善の見通し
- 食品・建材・家畜卸は売上・収益DIともに悪化の見通し
- 地区別売上・収益DIは根室市がともに改善する一方、管内4町は悪化見通し

DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
卸売業全体	△6.2	△12.5	△12.5	+6.3	± 0.0	△ 6.2

業種別

水産物卸	△18.2	△18.2	± 0.0	± 0.0	△18.2	+ 9.1
食品・建材・家畜卸	+20.0	± 0.0	△40.0	+20.0	+40.0	△40.0

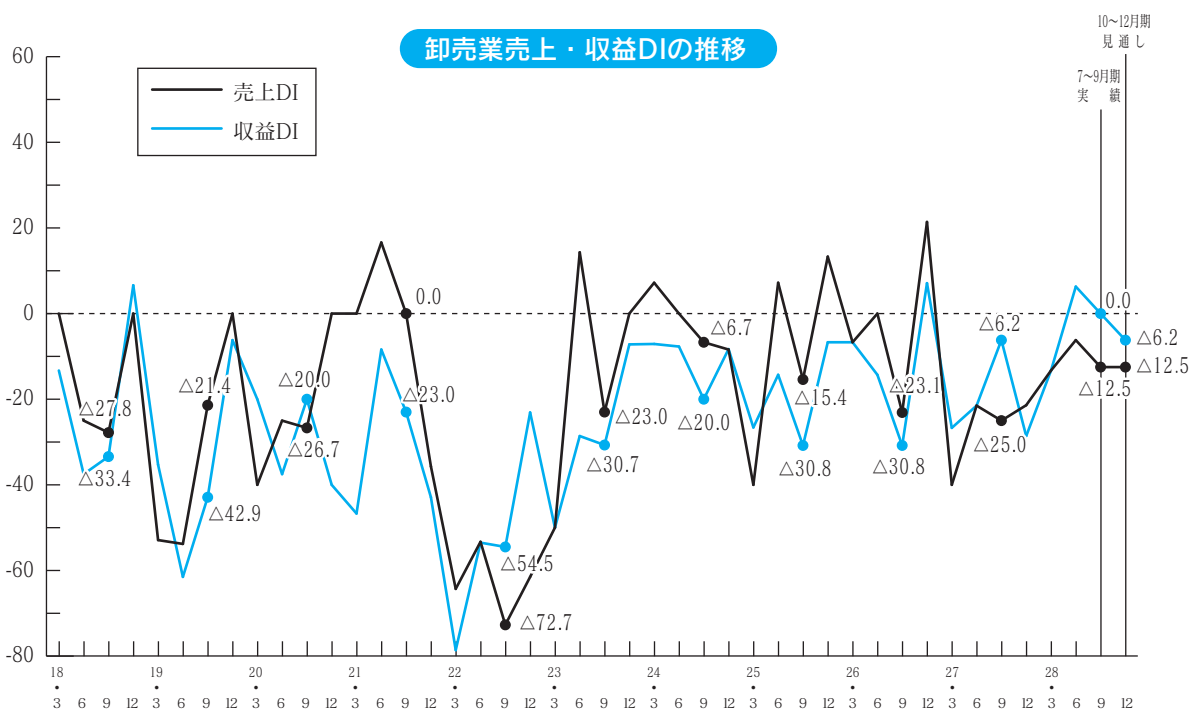
地区別

根室市	△16.6	△25.0	+ 8.3	± 0.0	+ 8.3	+25.0
管内4町	+25.0	+25.0	△75.0	+25.0	△25.0	△100.0

7～9月卸売業特徴

水産物卸売業は、サンマ・秋サケの水揚量が振るわず、仕入値が高騰し収益を圧迫しています。一方で、主要魚種の本格稼働への期待感から見通しはやや改善しています。

家畜市場では、酪農規模拡大や肉牛の不足から依然として初任牛、F1の価格は高騰しています。今後の見通しは不透明であり、前期に引き続き肥育業者にとっては負担増となる一方、酪農家にとっては収入増となっています。



小売業

～売上DI・収益DIともに依然低調～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
小売業全体	△36.6	△35.2	△31.4	△32.7	△33.4	△29.6

業種別	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
衣料品	△100.0	△60.0	± 0.0	△100.0	△80.0	± 0.0
飲食料品	± 0.0	± 0.0	△29.5	△31.3	△11.8	△35.3
飲食店	△60.0	△33.3	△50.0	△60.0	△33.3	△50.0
自動車・スポーツ	△66.7	△75.0	△75.0	△66.7	△75.0	△75.0
家具・DIY	± 0.0	± 0.0	± 0.0	± 0.0	+33.4	± 0.0
家電	△75.0	△60.0	± 0.0	△50.0	△60.0	± 0.0
医薬品・化粧品	± 0.0	△25.0	± 0.0	+25.0	△50.0	± 0.0
書籍・文具	△25.0	△50.0	△50.0	± 0.0	△50.0	△50.0
燃料	△71.4	△83.3	△66.7	△14.3	△16.7	△33.3

地区別	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
根室市	△26.3	△30.0	△30.0	△31.5	△45.0	△30.0
管内4町	△42.4	△38.2	△32.3	△33.3	△26.5	△29.4
うち中標津町	△75.0	△64.3	△50.0	△66.7	△57.2	△35.7

実績TOPICS

- 小売業全体の売上DI1.4ポイント改善、収益DIは0.7ポイント後退
- 飲食料品、家具・DIYは売上DI±0を維持。収益DIは家具・DIYを除き全て景況感はやマイナス。
- 好調に推移していた医薬品・化粧品は売上・収益DIともにマイナスへ転じる。

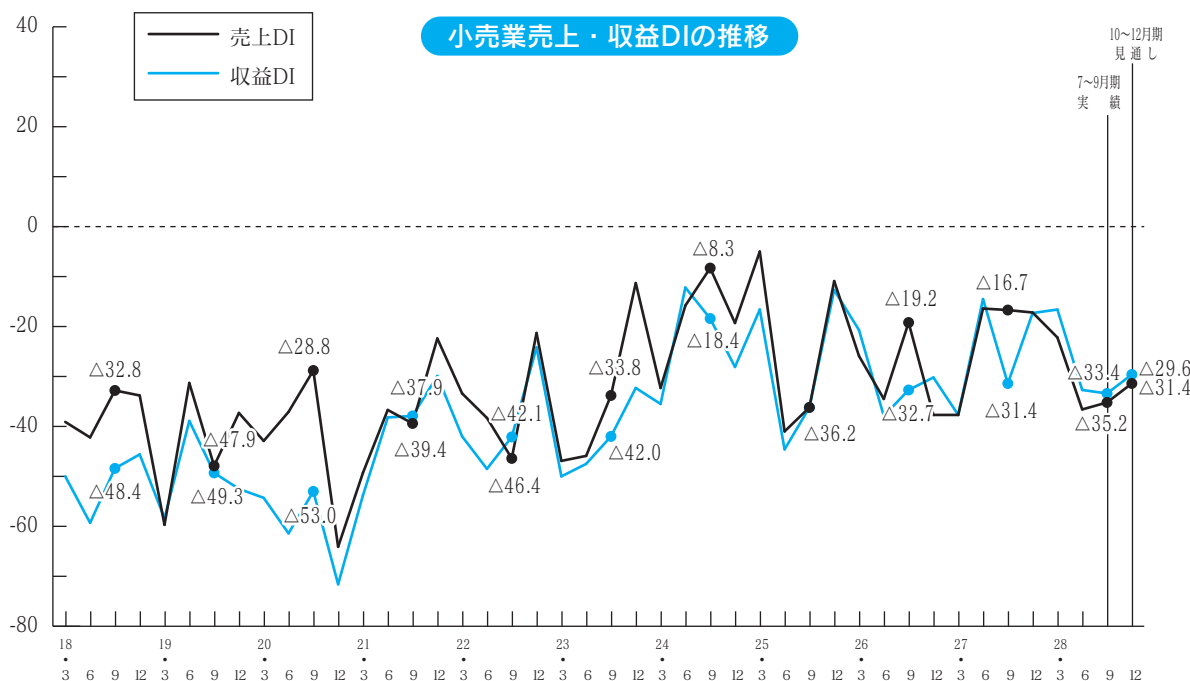
見通しTOPICS

- 売上・収益DIともに今期比やや持ち直すも低調な見通し
- 衣料品、家電、医薬品・化粧品は売上・収益DIともに改善の見通し
- 地区別では、根室市、管内4町ともに低調な見通し

7～9月小売業特徴

根室管内の7～9月は台風や長雨の影響により、観光客の減少や消費マインドが低迷し業界の景況感は低調に推移しています。

高齢化や価格競争の激化により、市場のニーズに合わせた差別化や付加価値の向上への取組がより重要となっています。また、衣料品や家電等の一部の業種では年末商戦への期待感から次期は売上・収益ともに改善される見通しとなっています。



サービス業

～売上DI・収益DIともに低調～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
サービス業全体	△16.7	△43.3	△30.0	△36.7	△36.6	△33.3
業種別						
旅館・ホテル	△71.4	△57.1	△14.3	△85.7	△42.9	△14.3
洗濯・理美容	△66.7	△100.0	△75.0	△66.7	△100.0	△75.0
自動車整備	△16.7	△25.0	+25.0	△33.3	△75.0	△25.0
運輸	± 0.0	△33.4	△55.6	△11.1	△33.4	△55.6
医療・その他	+60.0	△16.7	△16.6	± 0.0	+33.3	± 0.0
地区別						
根室市	△30.8	△50.0	△50.0	△38.5	△50.0	△50.0
管内4町	△ 5.9	△37.5	△12.5	△35.3	△25.0	△18.7

実績TOPICS

- サービス業全体では売上DI26.6ポイント、前期比後退。一方収益DIは前期並。
- 運輸、自動車整備、洗濯・理美容は売上・収益DIともにマイナス幅を拡大。
- 医療・その他の収益DIがプラスに転じる。

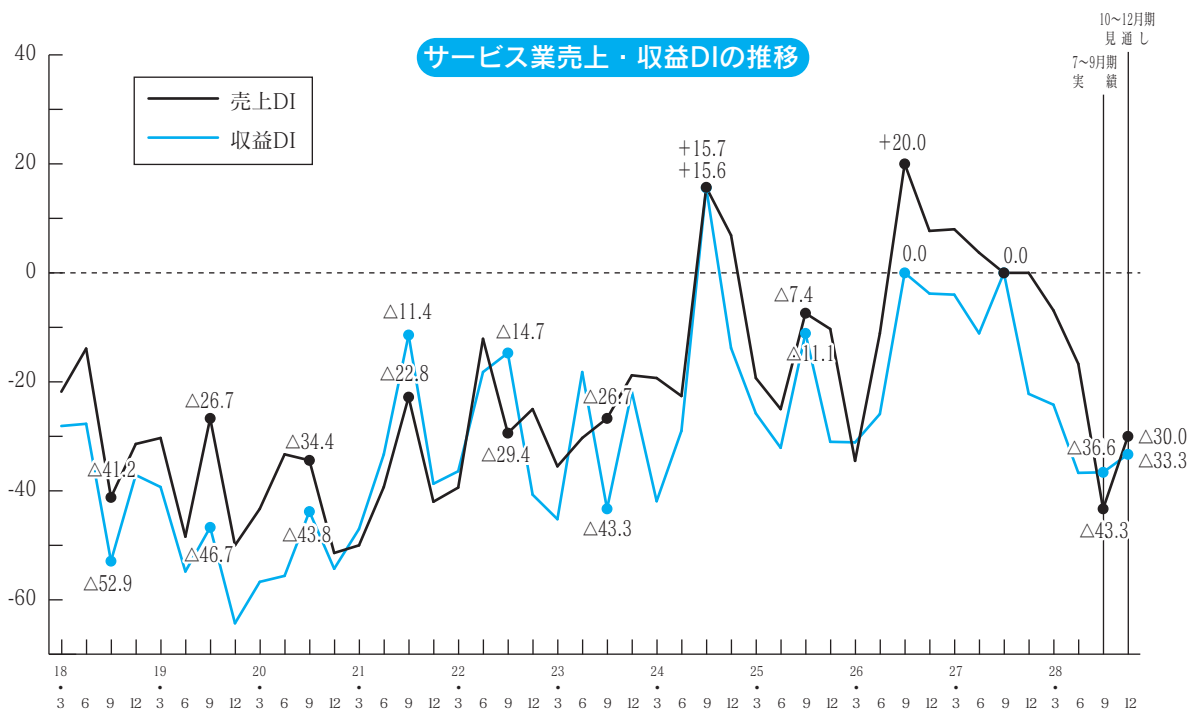
見通しTOPICS

- 全体では売上・収益DIともに今期比やや持ち直すも低調な見通し
- 旅館・ホテル業、自動車整備業は売上・収益DIともに改善の見通し
- 運輸業は売上・収益ともに悪化の見通し

7~9月サービス業特徴

台風の影響によりJRや道路等の交通網が遮断された影響を受けて、観光客の減少に伴い、ツアーやホテルへのキャンセルが多数発生し、旅館ホテル業の景況感は低迷しています。一方で、年末へ向けて観光客の動向改善への期待感から見通しはやや改善されています。

運輸業についても、交通障害による物流効率の悪化や、水揚不振の影響により景況感は悪化しています。



建設業

～売上DI・収益DIともに悪化～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
建設業全体	△ 9.1	△34.8	△21.8	± 0.0	△39.2	△30.4

受注分野別

官公庁受注	± 0.0	△18.8	△ 6.2	+13.4	△31.2	△18.8
民間受注	△28.6	△71.4	△57.1	△28.6	△57.1	△57.1

工事種類別

建築工事	△11.1	△40.0	△20.0	△22.2	△40.0	△40.0
土木工事	△12.5	△22.3	△22.2	+25.0	△33.4	△22.2
設備工事・その他	± 0.0	△50.0	△25.0	± 0.0	△50.0	△25.0

地区別

根室市	△16.6	△85.7	△42.9	△33.3	△85.7	△42.9
管内4町	△ 6.2	△12.5	△12.5	+12.5	△18.7	△25.0

実績TOPICS

- 建設業全体では、売上DI25.7ポイント、収益DI39.2ポイント前期比悪化。
- 地区別では根室市の売上・収益DIが大幅悪化
- 工事種類別においても全種の売上・収益DIが前期比悪化

見通しTOPICS

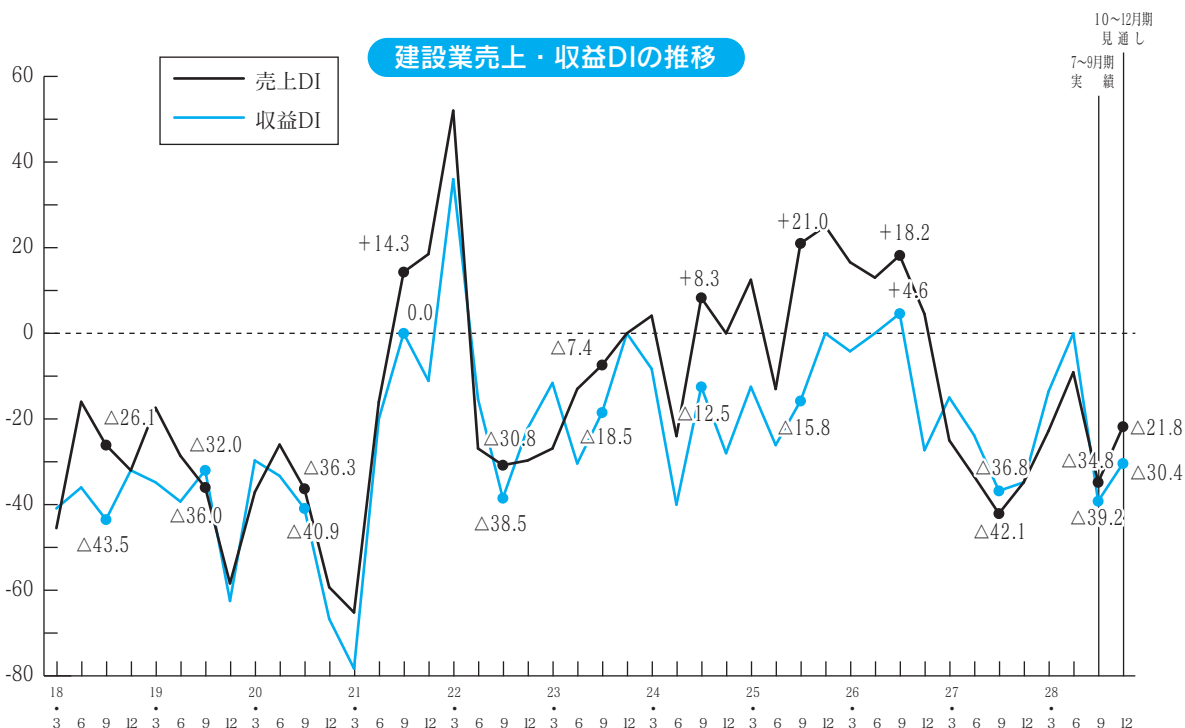
- 全体では売上・収益DIともにやや持ち直すが低調に推移する見通し
- 根室市は改善の見通しにあるも、依然低調に推移
- 分野別では官公庁の売上・収益DIが持ち直す見通し

7～9月建設業特徴

管内の公共工事請負金額は前年比増加傾向となっています。一方で7～9月の台風の影響を受け工期の遅れや期間の延長による稼働の低下、諸経費の負担増により企業の景況感は悪化しています。

住宅の着工数については前年比減少傾向にあり、他社との競合や価格競争の中で、企業の景況感は後退しています。

今後は災害復旧工事などの受注が見込まれていますが、全体としては低調に推移する見通しとなっています。



経営上の問題点 (平成28年9月調査)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業
1位	売上・受注の 停滞・減少	売上 の 停滞・減少	売上 の 停滞・減少	売上 の 停滞・減少	受注・施工高の 停滞・減少
2位	原材料高	販売商品 の 不足	競争の激化	人手不足	人手不足
3位	原材料の 入手難	人手不足	人手不足	店舗の狭小・ 老朽化	人件費以外の 経費の増加
4位	工場・機械の 老朽化	競争の激化	人件費の増加	人件費の増加	下請の確保難
5位	競争の激化	代替商品 の 不足	人件費以外の 経費の増加	その他	競争の激化

調査員・調査企業のコメント (平成28年9月調査)

【製造業】

- ・時鮭好漁から原料確保。秋鮭不漁もロシアベニ輸入にて代替。サンマ不漁から、型も小さく、取扱いは少ない。機械新設により作業効率アップ。**(水産加工)**
- ・相対的な取扱数量については現状維持が図れているものの、原料価格高騰の中、一定の固定費捻出は資金繰りに大きく影響している状況。**(水産加工)**
- ・秋鮭の水揚も低迷しており、浜値が高く推移し工場の稼働状況が昨年より低下している。**(水産加工)**
- ・今期のマスは予想を覆し好漁となった為、浜値は前年の半値に止まっている。これは前年の高値在庫が影響しているとともに、アラスカの不漁が確定的となった反面、ロシアの豊漁が伝えられていることから市場価格はまだ微妙な位置にある。**(水産加工)**
- ・前浜物の水揚少なく全般的に業況は低迷・サンマ不調、型も小さく一汐物に不向きで主力である木箱部門が伸び悩んでいる。**(木材)**
- ・官庁（役場）からの値下げ要請が大きく、利益率の管理を徹底している。**(出版・印刷)**

【卸売業】

- ・収益性を考慮しサンマシーズン序盤は買い控えも行わざるを得なかった。**(水産物)**
- ・ホームページを開設したが同業者に比べ後発であることから効果は今ひとつの状況。**(水産物)**
- ・秋鮭水揚量が少ない状況が続く。受注分の原魚確保が必要であり原魚確保に苦慮。**(水産物)**

- ・サンマは序盤水揚げ不漁が目立ったが、同時に各市場へ出回る数量についても低下したことが功を奏し、取扱量は確保した。**(水産物)**
- ・原料単価に変化なく仕入ルートの見直しは必要なし。市況低迷が顕著であり、販売ルートについては今後採算重視徹底が必要。**(水産物)**
- ・原料仕入価格の高騰は顕著であり、従来の販売価格では採算が取れない状況。**(水産物)**
- ・鮭鱒の影響、サンマ不漁の影響から水産加工業者向けの卸売販売が不調。目的買い程度に止まっており他業種への営業に注力している。**(材料・資材・用品)**
- ・牛の相場高値続くが、いつまで続くか見通しがつかない状況。諸資材の価格動向にも注視が必要。**(家畜)**

【小売業】

- ・新規顧客の増加により、売上は維持されており、来期も売上増加の見込み。**(衣料品)**
- ・競争激化により、売上減少。新規顧客の確保が課題。**(衣料品)**
- ・円高推移から原価抑制され収益改善。**(衣料品)**
- ・弁当販売中心に売上好調。**(飲食料品)**
- ・地域柄、漁業関係者が多くパート、アルバイト従業員の人材と安定確保が課題。**(飲食料品)**
- ・過去の設備投資過大により、資金繰りが厳しい。**(飲食料品)**
- ・新米以降、米仕入価格の値上がり見通しあり、顧客との価格交渉が悩み。**(飲食料品)**
- ・顧客の来店頻度は変わらないが、仕入単価増加で利益低下を予想。**(飲食料品)**

調査員・調査企業のコメント (平成28年9月調査)

- ・ 来客者数の減少に歯止めがかからない状況。又、人口動態が激しい背景より、来客者数は毎年減少が予想される。 (飲食料品)
 - ・ おでんフェア行うも、台風の影響で大根が仕入れできない等、被害を受けた。 (飲食料品)
 - ・ 従業員不足の状況が続き、高齢の従業員を雇わざるを得ない状況になっている。 (飲食料品)
 - ・ 売上の増加策が見当たらない。 (飲食店)
 - ・ 大手ドラッグストアが新しくオープンしたため、売上げ減少、客離れが懸念される。新たな取組としてお年寄りの宅配サービスを検討中。 (飲食店)
 - ・ 台風の災害により食品の売上げは一時的に増加したものの、大手ドラッグストアの出店により今後の売上げ減少に懸念。 (飲食店)
 - ・ 台風の影響により、来店客数減少傾向。 (飲食店)
 - ・ 市況著しく低下しており新車販売台数は大幅に減少。中古車販売及び整備・修理等受注についても昨年比1割減の実績。 (自動車・自転車)
 - ・ ディーラーからの新車納期が遅延傾向。売掛金が滞留しており、資金繰りを圧迫。 (自動車・自転車)
 - ・ 市内の競争激化や購買意欲の低迷により、売上減少。 (家電)
 - ・ 引続き人員の確保をしていくことが、当面の課題。 (医薬品・化粧品)
 - ・ 市内高齢化にてニーズに偏りが出ている状況。その他業況については特別変化なし。 (医薬品・化粧品)
 - ・ 天候が悪く、出漁が少ない為、売上が低調。 (燃料)
 - ・ 天候が悪く、出漁が少ない、観光客が遠退いたため売上げが伸び悩んでいるなか、新たな取組として、タイヤの商談会開催や、部品、オイル等へ注力しているが、仕入れが年々下がっているため、大きな売上げが見込めない状況。 (燃料)
 - ・ 従業員の営業力低下が懸念される。軽微な修理等で代金をいただかない等、サービス料をいただけていない状況。 (燃料)
 - ・ 原油価格の乱高下が一段落し、適正価格での販売が実施できるようになった。 (燃料)
 - ・ 前浜の水揚量減少に伴い、地域経済も低迷。 (カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- 【サービス業】**
- ・ 台風の影響により予約キャンセルが目立った為、年間宿泊客数は昨年に比べ減少を予想。 (旅館・ホテル)
 - ・ 台風、長雨の影響から観光客が減少していると感じている。 (旅館・ホテル)
 - ・ 高齢化に伴い利用客の減少。新規顧客の確保が課題。 (洗濯・理美容・浴場)
 - ・ 店頭の売上が落ちている(客足の減少)他、葬儀一家当たりの費用が減少傾向にある。 (その他)
 - ・ 天候が一番の問題。 (その他)
- 【建設業】**
- ・ 作業員(大工)の高齢化が進んでおり、受注増加への対応が難しい。また、資材業者からもスムーズな提供が受けられず、時間を要す状況がしばしばある。 (建築工事)
 - ・ 住宅新築工事は価格競争激しく受注は難しい状況。又、災害による受注工事の工期遅延も影響し外注費嵩み粗利は減少。 (建築工事)
 - ・ 消費増税を前に新築需要旺盛。しかしながら、反動が懸念される。 (建築工事)
 - ・ 町発注の大型工事に加え、新築工事受注もあり稼働状況は活発。 (建築工事)
 - ・ この度の大雨、台風災害による災害復旧工事の発注が予想される。今年度は公共工事発注が例年より遅く受注確保に苦慮しており、補填となる。 (土木工事)
 - ・ 台風の影響で工期遅れている。 (土木工事)
 - ・ 産業クラスター事業により受注には苦慮していない。 (土木工事)
 - ・ 町予算の増加から前年水準の受注は既に確保している状況である。 (土木工事)
 - ・ 8月の台風等天候不順の影響により、工事の遅れが懸念、間に合わせるべく稼働はしているが、労務費負担も増加し当初の工事利益確保は厳しい状況。 (土木工事)

第106回釧路地区小売業景気動向調査

28年7~9月期実績・28年10~12月期見通し

釧路地区小売業総合

～売上DI・収益DIともに後退～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
総合	△33.0	△37.8	△15.6	△19.4	△22.2	△6.6
釧路市	△38.7	△30.3	△6.1	△16.1	△3.1	+12.1
釧路市音別町	△100.0	△66.7	△33.3	△50.0	△66.7	△33.3
釧路町	△11.1	△55.6	△44.4	△22.2	±0.0	△22.2
白糠町	△41.7	△25.0	+8.4	△25.0	△8.3	+16.7
厚岸町	△36.8	△52.7	△36.9	△15.8	△57.9	△36.9
浜中町	△50.0	△33.3	△16.6	△50.0	△33.3	△16.6
標茶町	+11.1	△25.0	±0.0	±0.0	△37.5	△12.5

実績TOPICS

- 総合では、売上DI4.8ポイント、収益DI2.8ポイント前期比後退
- 釧路市、白糠町、浜中町は売上・収益DIともに前期比持ち直し
- 釧路町は売上DIが悪化する一方、収益DIが±0へ改善
- 厚岸町は売上。収益DIともに悪化

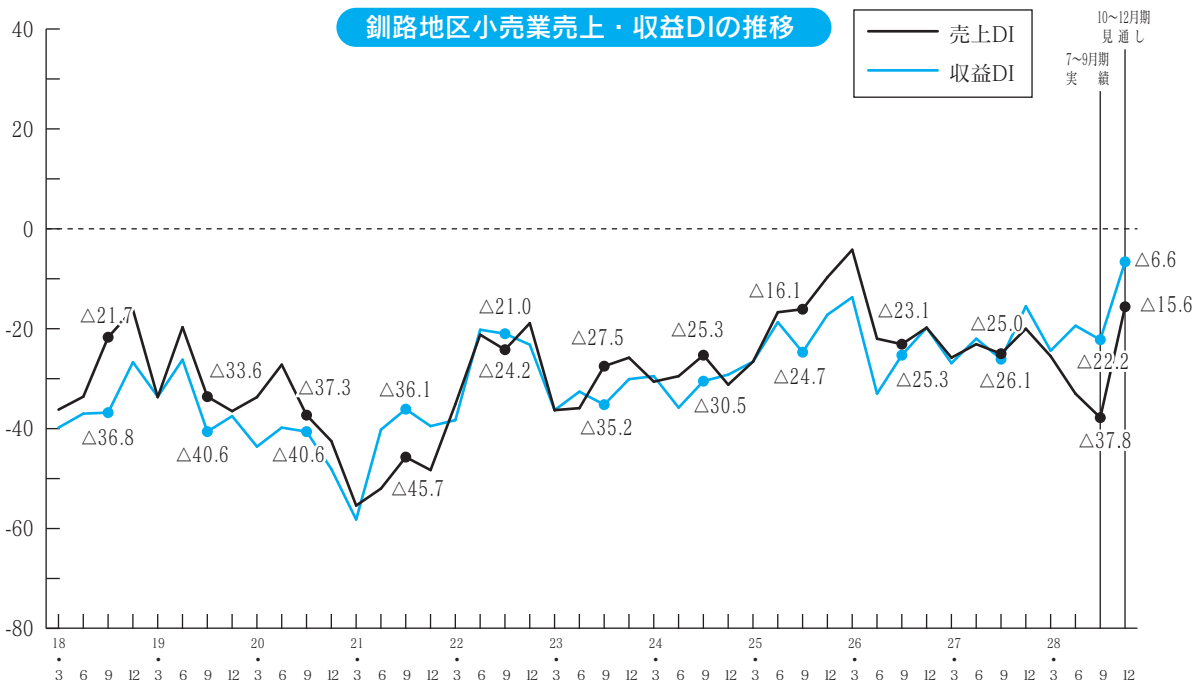
見通しTOPICS

- 地区別全体では売上・収益DIともに前期比改善の見通し
- 白糠町は売上・収益ともにプラスへ転じる見通し
- 釧路市は売上・収益DIともに改善の見通しで収益DIはプラスへ転じる
- 音別町、厚岸町、浜中町は売上・収益DIともに改善の見通しも依然低調に推移

7~9月釧路小売業地区別特徴

7~9月は台風や天候不順による一次産業への被害や、交通網の遮断による観光客の減少を受けて総合の売上、収益の景況感は後退しています。一方で、各種用品や設備の修理や入替により、一部の業種ではプラスに働いています。

見通しとしては交通網の復旧による需要の増加や、年末消費増への期待感から売上・収益DIともに改善される見通しとなっています。



釧路地区小売業総合

DIの推移	売上DI			収益DI		
	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し	4~6月期実績	7~9月期実績	10~12月期見通し
総合	△33.0	△37.8	△15.6	△19.4	△22.2	△6.6
衣料品	△12.5	△57.1	△28.6	△25.0	△57.1	△28.6
食料品計	△48.5	△37.9	△10.8	△34.3	△18.9	+ 2.7
(酒・タバコ・米)	△83.3	△71.4	△14.3	△83.3	△71.4	△28.6
(コンビニ)	△66.7	+25.0	± 0.0	△66.7	+25.0	+12.5
(スーパー)	△66.6	△33.3	△33.3	△16.7	0.0	△16.6
(菓子・パン)	△50.0	△33.3	± 0.0	△33.3	△16.7	+16.6
(その他総合食品)	△ 9.1	△70.0	△10.0	± 0.0	△30.0	+20.0
家具・仏具	± 0.0	△66.7	± 0.0	± 0.0	△33.3	± 0.0
家電・OA機器	△62.5	△14.3	± 0.0	△62.5	± 0.0	± 0.0
医薬品・化粧品	+20.0	△20.0	△20.0	± 0.0	△20.0	△20.0
書籍・文具	△66.7	△50.0	△50.0	+33.3	△50.0	△50.0
玩具・スポーツ靴・カバン	△33.3	△75.0	△75.0	△50.0	△50.0	△75.0
カメラ・時計・計メカネ・貴金属	+50.0	△50.0	+50.0	+50.0	△50.0	+50.0
金物・DIYカー用品・燃料	△23.0	△26.7	△20.0	+30.8	△ 6.6	△ 6.7
贈答・花・茶	△20.0	△40.0	△20.0	△20.0	△20.0	± 0.0

実績TOPICS

- 衣料品、家具・仏具、医薬品・化粧品は売上・収益DIともに前期比悪化
- コンビニは売上・収益DIともに前期比改善
- スーパー、家電・OA機器は売上・収益DI改善

見通しTOPICS

- コンビニ、菓子、パン、その他総合食品は収益DIプラスの見通し
- スーパー、玩具・スポーツ・靴・鞆は売上・収益DIともに低調の見通し
- 衣料品は今期比改善の見通しにあるものの、依然低調

7~9月釧路小売業業種別特徴

天候不順の悪影響や高齢化、人口減少を要因に各業種の景況感は低調となっています。食料品系はコンビニの景況感がプラスとなる一方、その他総合食品や酒・タバコ・米が低調に推移しており、依然低調となっています。

衣料品は消費マインドの低迷に加えて、多様な販売方法や複合施設の参入により競争が激化し、景況感は悪化しています。

家電・OA機器は台風による施設の修繕、入替等の需要もあり景況感は改善しています。見通しについても現状の需要および年末商戦の期待感から改善の見通しとなっています。

経営上の問題点 (平成28年9月調査)

	小売業全体	釧路市	釧路町	白糠町
1位	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少	競争の激化	売上の停滞・減少
2位	競争の激化	競争の激化	人件費の増加	競争の激化
3位	店舗の狭小・老朽化	店舗の狭小・老朽化	売上の停滞・減少	店舗の狭小・老朽化
4位	人手不足	人手不足	人手不足	販売商品の不足
5位	人件費以外の経費の増加	販売先からの値下げ要請	人件費以外の経費の増加	在庫過多

	音別町	厚岸町	浜中町	標茶町
1位	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少
2位	競争の激化	競争の激化	競争の激化	人手不足
3位	人件費の増加	人件費以外の経費の増加	人手不足	競争の激化
4位	販売商品の不足	販売商品の不足	人件費の増加	人件費以外の経費の増加
5位	交通難	店舗の狭小・老朽化	人件費以外の経費の増加	代金回収の悪化

調査員・調査企業のコメント (平成28年9月調査)

釧路市・釧路町

- ・従業員多数雇用のため、人件費増。経費削減が課題。(コンビニ)
- ・若年層はコンビニや大型スーパーで購入するケースが多く、依然競争は厳しい。(酒・タバコ・米)
- ・競争激化。新商品の開発に取り組み、お客様が求めているものを販売しなければいけない。(菓子・パン・ケーキ)
- ・小麦等原料の高騰から利益は減少傾向。商品の値上げ、社員の賞与カット等経費削減はしていない。(菓子・パン・ケーキ)
- ・最低賃金上げによる人件費の増加が課題。(その他(総合食品など))
- ・販売先に変化はないが、仕入単価上昇が減益の要因となっている。(その他(総合食品など))
- ・人員不足。現在、配達兼営業で稼働しているが、人員確保し稼働率アップを図りたい。(その他(総合食品など))
- ・悪天候が続き、例年と比較すると集客は落ちている。経費削減を意識し、パート・アルバイトを中心に稼働。(その他(総合食品など))
- ・台風による農作物不作の影響もあり仕入値増加。大手スーパーとの価格競争もあり薄利多売が続く。(その他(総合食品など))
- ・在庫セールを実施し、商品の入れ替えをしていきたい。(家具・仏具)
- ・若年層の顧客増加、他電器店の減少により困っている顧客の受皿になるためチラシ作成を検討。(家電・OA)
- ・台風の特需がありアンテナ等の修理依頼が殺到。同時に4kTVの推進強化により売上は上昇。(家電・OA)
- ・台風被害の影響でアンテナ修理、水周りの修繕依頼が増えたことから、前期に比べ売上は増加傾向。(家電・OA)
- ・地域内の高齢化により売上は横這いであるも、マンツーマン対応から1人当たりの単価は高い。(医薬品・化粧品)
- ・機械が故障し入れ替えが必要となった場合中古がほとんど出回っておらず、メーカーの減少により入れ替えが難しい。(書籍・文具)
- ・競技人口の減少により売上は減少傾向。同業者も減りつつある。(玩具・スポーツ・自転車)
- ・近隣に大型の車両販売店ができたことで、顧客は減少する見込み。売上にも影響あり。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・海水温上昇による不漁、出漁回数減少、魚場が近い等の理由から漁船への販売数量が減少。台風(時化)の影響も考えられる。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・その年や時期により売上は左右されやすいのが課題である。現在売れ筋に変化なし。(贈答・生花・お茶)
- ・大型店に入り販売していることから、売上は安定。(贈答・生花・お茶)
- ・天候不順のため生花不足が続く。民間の庭手入れも天候の影響から夏場の作業が進まず諦めムードとなり植樹等が減少。(贈答・生花・お茶)

浜中町・厚岸町・標茶町・白糠町・釧路市音別町

- ・天候不順により、夏物衣料の販売が振るわなかった。(衣料品)
- ・毛糸等の手芸用品も取り扱っているが、売上は縮小傾向。(衣料品)
- ・売上げ減少歯止めかからず苦しい状況。(衣料品)
- ・仕入額が高騰。販売価格上げのまだ不十分。販売先からは高いとの声あり。(衣料品)
- ・春に比べ増取しているが、鮭鱒、サンマ、コンブの水揚げ減少により取引先の購買力が低下している。(酒・タバコ・米)
- ・酒類の販売は減少傾向にあり、固定客高齢化により減少が止まらない。(酒・タバコ・米)
- ・道東唯一のタバコ専門店としての利点を効かし、幅広い銘柄を取り揃えており固定客中心に稼働。近年では珍しい銘柄を求め新規顧客も増加中。(酒・タバコ・米)
- ・不動産部門では新築MSを取得予定。(酒・タバコ・米)
- ・高速道路の阿寒延伸により売上げは30%落ち込んでいる。台風被害で国道が不通となった事から、高速のみとなり、更に売上げ減少の懸念がある。(コンビニ)
- ・昆布の出漁少なく、パン等の売上が減少。(コンビニ)
- ・店舗改装により、売上増加したが、経費も増加している。アルバイトの雇用確保も問題。(コンビニ)
- ・町内同業者の店舗閉店の影響もあり、若干ではあるが顧客流入するが、大手スーパーやコンビニとの競争もあり依然厳しい。(スーパー)
- ・高齢化と大手スーパーとの競合により、停滞している。(スーパー)
- ・高齢者の多い地域であるため配達サービスに注力中。(スーパー)
- ・台風被害で生鮮類、魚類の品不足、価格上昇の影響があった。(スーパー)
- ・ホームセンターでも食品の取り扱いを拡大するなど、町内でも競争が激しくなっている。(菓子・パン・ケーキ)
- ・卸売は堅調に推移。店頭もまずまずの状況。利幅が高い外販が人員固定で低調。人員不足が課題。(菓子・パン・ケーキ)
- ・台風の影響で原材料の値上がりも今後懸念される。(菓子・パン・ケーキ)
- ・大手ホームセンターが生鮮食品を取り扱っているが、閉店間際には値引き販売も行っており、影響を受けている。(その他(総合食品など))
- ・大型スーパーとの取引増加もあり売上増加を見込んでいる。新商品開発や既存商品のブランド力向上により更なる売上増加に期待。(その他(総合食品など))
- ・サンマの水揚げ量が少なく、販売価格高値で推移しているが、贈答等で購入される方が多い。(その他(総合食品など))
- ・町内工事現場の自動販売機設置台数は増えており、商品補充等は飲料水メーカーに委託している。(その他(総合食品など))
- ・海が時化で商品確保に苦戦、根室地区加工業者参入により仕入れ単価高騰。(その他(総合食品など))
- ・高速道路開通後は若干売上増加減少。(その他(総合食品など))
- ・大型店との競争もあり個人消費は落ち込んでいる。配送、設置等のサービスにより固定客流失を防いでいる。(家具・仏具)
- ・塗装工事やクロス等の張り替え、サッシ交換等リフォーム工事の受注が多かった。(家電・OA)
- ・釧路への顧客流出止める施策模索中。(家電・OA)
- ・町内に古くからの固定客多く、店頭が無い商品は取り寄せで対応。ドラッグストアに無い商品を取り扱うことで差別化を図っている。(医薬品・化粧品)
- ・配達サービス引き続き好評。(医薬品・化粧品)
- ・町内競合変わらず苦しい環境。(医薬品・化粧品)
- ・町内人口減少や若年層の新聞離れ、電子書籍等の影響もあり売上は減少傾向。(書籍・文具)
- ・今期は大きな変化はないが、来期はクリスマス需要などで増収見込む。(書籍・文具)
- ・天候不順一見関係ない業種に見えるが若干の影響あり。顧客より求められる仕事は細かく幅広いが効率とスピードを改善していく方針。(カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- ・代表夫妻高齢化の中で機動力落込み、人員不足が懸念。また、大手の工具店との競争も激化し客足が伸びていない状況。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・中古車市場低迷の中で業況は依然として厳しい模様。また、大手の中古車取扱店との競争も激化。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・高齢化や人口減少により個人消費落ち込み、店舗売上は減収傾向。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・漁業者関係の不景気による影響あり。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・固定客の高齢化による車離れが続き、経営者自身も高齢であるため販路拡大は難しい状況。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・サンマ漁業者への販売について、漁場が遠いため燃料使用量は増えているが、出漁回数が少ないため、例年並の販売量となる見通し。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・顧客減少変わらず。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ・少子高齢化による売上減少あるが、漁業関係者の商品取り扱いによる取引は維持。(靴・カバン)
- ・台風による生花への影響少なく、納品の遅延等も無かった。(贈答・生花・お茶)
- ・大手ホームセンター出店による影響は見られない。(贈答・生花・お茶)

調査要領

- ①調査地域 根室管内1市4町（根室市 中標津町 羅臼町 標津町 別海町）
釧路管内1市5町（釧路市 釧路市音別町 釧路町 白糠町 厚岸町 浜中町 標茶町）
- ②調査期間 平成28年9月8日～9月16日
平成28年7月～9月期の景気の現状と平成28年10月～12月期の見通しを調査したものです。
- ③調査方法 面接ききとり方法及び郵送方法
- ④分析方法 DI（増加－減少のウエイト）
- ⑤調査対象企業 根室管内景気動向調査：182社
うち有効回答142社、回収率78.0%
釧路地区小売業景気動向調査：99社
うち有効回答90社、回収率90.9%

《根室管内景気動向調査》

	調査対象 企業数	地 区 別		業 種 別
		根 室 市	管内4町	
(1) 製 造 業	22社	9社	13社	水産加工10、木材5、出版・印刷4、造船1、 農畜産加工2
(2) 卸 売 業	18社	13社	5社	水産物卸11、家畜卸3、食品2、材料・資材・用品2
(3) 小 売 業	69社	26社	43社	衣料品5、飲食品18、飲食店8、家具1、家電7、 医薬品・化粧品4、書籍・文具4、建材・金物・DIY3、 燃料10、カメラ・時計・貴金属2、スポーツ・娯楽用品4、 自動車・自転車3
(4) サービス業	43社	18社	25社	旅館・ホテル8、洗濯・理美容・浴場6、 自動車整備9、運輸12、医療1、船舶修理1、 その他6
(5) 建 設 業	30社	9社	21社	建築14、土木9、設備5、その他2

《釧路地区小売業景気動向調査》

<規模別>

大 型 店	5社
大型店以外の小売業	94社

<地区別>

釧 路 市	40社
うち 橋 北 地 区	10社
鉄 北 地 区	9社
愛 国 地 区	3社
鳥取・大楽毛地区	7社
橋 南 地 区	3社
春採・桜ヶ岡地区	8社
釧路市音別町	3社
釧 路 町	11社
白 糠 町	12社
厚 岸 町	19社
浜 中 町	6社
標 茶 町	8社

<業種別>

衣 料 品	8社
食 料 品	37社
うち 酒・タバコ・米	7社
コ ン ビ ニ	9社
ス ー パ ー	5社
菓子・パン・ケーキ	6社
その他(総合食品など)	10社
家 具 ・ 仏 具	2社
家 電 ・ O A	9社
医 薬 品 ・ 化 粧 品	5社
書 籍 ・ 文 具	5社
玩具・スポーツ・自転車	4社
カメラ・時計・メガネ・貴金属	2社
金物・DIY・カー用品	15社
靴 ・ カ バ ン	2社
贈 答 ・ 生 花 ・ お 茶	5社
大 型 店	5社

☆DI（デフュージョン・インデックス）の説明

景気の拡がり具合をとらえる指数。「増加」回答から「減少」回答を差し引きした結果が全体に占める割合を示したものです。DIは景気の向きを表し、DI値が高いほど景気に勢いがあり、反対に低いほど景気の停滞感が強いこととなります。

(例) この場合のDI値は			(増加)	(減少)
			40.0	- 20.0 = +20.0となります。
増 加	不 変	減 少		
40.0%	40.0%	20.0%		

◎本調査での売上DI・収益DIは、前年同期で比較したものです。